



## TOPICS

- ✓ 居住支援法人として事業をスタート
- ✓ もちもちの木第20期通常総会開催
- ✓ もちもちスタッフ それぞれの働き方

グループホーム土橋のおうち  
介護職員 高森 真弓さん



## 卷頭言 「住まい」のあり方 福祉拠点と居住支援

暑さもまだまだ厳しい折、皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。また、大雨被害に遭われた方にお見舞い申し上げます。

当法人は地域の皆様にご理解をいただきながら 2001 年より 20 年間、介護事業を柱に地域に根差した様々な活動を行ってまいりました。

利用者様やそのご家族、地域の皆様との密な関わりの中で近年浮き彫りとなってきた課題に、「高齢である」「身寄りがおらず保証人がいない」「緊急連絡先が無い」「バリアフリーなどの希望に見合う物件がない」などの様々な理由で、住まい探しを困難に感じている方がとても増えたことが挙げられます。

社会・経済の構造変化の中で、不安定な働き方をしている人や家族・周囲とのつながりの薄い生活を送っている人が多く、加えて病気や失業といった出来事がいくつも重なると生活困窮に至ることがあります。

高齢者だけでなく、障がい者、子育て世帯、低所得者、被災者等、誰しもが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるには、福祉・住宅部局だけでなく、地域の様々なプレーヤーが連携して、居住支援を行う必要があります。

2017 年より、国の施策として、住まい探しに困っている方々と空き家、空き室を活用したい家主様をつなぐ取り組み「新たな住宅セーフティネット制度」が始まりました。当法人は、本年度より、この制度の入居希望者と家主のつなぎ役、相談および居住・生活支援を担う「広島県住宅確保要配慮者居住支援法人」として、広島県よ

り指定を受けました。

自立した暮らしは住まいの安定が欠かせません。

日常の生活にも困難を抱えている方には住まいだけでなく生活支援のコーディネートも必要です。



理事長 竹中庸子

これまでに切に必要性を感じてきました「住まい」に関わる細かな配慮について、当法人は、既存の事業で獲得した福祉の経験を活かし、これらの課題を解決し円滑に安心した暮らしを送れるよう支援してまいります。

皆様には、これまで通りの熱いご支援、ご協力をお願い申し上げます。

※居住支援法人とは … 高齢者、障がい者などに対しアパート等への入居を支援し、見守りのための生活支援を実施する都道府県知事が指定した法人のことです。

## 令和3年度 第20期通常総会を開催しました。

去る令和3年6月19日、第20期通常総会を開催。今会も昨年度に引き続き新型コロナ感染拡大防止策の一環として本会、交流会ともにオンラインにて実施いたしました。全議案とも厳粛に審議され、満場一致で可決、承認されました。引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### お知らせ

グループホーム土橋のおうちの直通電話番号「082-294-9324」を2021年8月15日をもって廃止いたします。以後のご連絡は法人代表番号082-294-9346（土橋のおうち）で承ります。



## もちもちの木 働き方改革



もちもちの木には多様な働き方があります。希望に応じた雇用形態のほか、育児や介護、地域活動や芸術活動との両立など。

今回は、グループホーム土橋のおうちの介護職スタッフをご紹介します。

グループホーム土橋のおうちで調理に特化した介護職として働く高森真弓さん。元は別の業界で仕事をしており、約15年間理容師として自営業を営んでいました。理容師を退職後、新たな資格取得を考えていたところ、友人からの「向いていると思うよ」という勧めでヘルパー（現初任者研修）の資格を取得し介護業界へ転身。資格取得後は約10年間、特別養護老人ホームで働きました。ハードな勤務で体調を崩し仕事を辞めてからは2年ほどのブランクがあったそうですが再び介護業界へ。ハローワークを通して5年前にもちもちの木へ入職されました。慣れた仕事であることと、やはり人と接するのが好きだったと言います。

現在は、食事作りをメインにされている高森さんですが、前職の経験を生かし入居者さんのヘアカットなども行います。食事作りでは、入居者さんに配膳や下ごしらえなどの手伝いしてもらうことで手先や頭を動かすことを意識してもらったり、四季の旬の物をメニューに盛り込み生活の中で変化や刺激を感じてもらえるように工夫するなど、自立支援の視点からのケアもされています。

介護業界に身を置くまでは「介護」というものを知らなかったという高森さん。理容師時代に母が脳梗塞で倒れ認知症を患った際には、高森さん自身が仕事に家事、育児に追われていたこともあって母の介護に積極的に関わることが無かったといいます。

「今になって思えば…ということが多いです。在宅介護を独りでしていた父はすごく大変だったと思う。

もっと話を聞いてあげたり、もっと手伝いに行ってあげていれば良かったと悔やまれます」と話します。その経験もあって入居者さんやご家族に対して「些細な事でもいい、ちょっとした愚痴でもなんでもいいんです。辛くないか、悲しいことはないか、できる限り聞いてあげたい」と思って接しているそうです。

「いつも前向きで、明るい」と評判の高森さんですが、「生死」はとても身近なことでよく考えると話します。「この業界では、些細なことが（ケガや死亡などの）事故につながる。その人の人生がかかっているから少しも気は抜けないです。常に緊張感を保って仕事をしないと」と高森さん。

高森さんは15年前に息子さんを交通事故で亡くしました。家に飾ってある彼の遺品を見ると「当時を精一杯生きていたんだ」といつも感じるといいます。

現在でも息子さんの死は受け入れがたく「どうして私が生きているのか」と塞ぐことがあるそうです。それでも、利用者さんの「あなたの笑顔で元気になる」という言葉にこんな私でも人の役に立てるんだ、と頑張れたと話します。

「仕事柄もそうですが、息子の分も私自身精一杯生きなければと思う。入居者さんも、日々の生活の中で小さなことでもご自身の満足を積み重ねて楽しんで生きて欲しいです」と話します。

以前の職場では時間に忙殺されていたといいます。入居者さんに対してスケジュール通りに動いてもらうために忙しなく指示したり、急かしてしまうような状況で、ゆっくり過ごしてもらうような環境ではなかつたそうです。

もちもちの木では、高齢者の「ゆっくり」とした動きに寄り添った空間がとても優しく、スタッフとしても環境に安心できていると話してくれました。

現在は、ギターを弾く職員に刺激されて、長年念願だった「音楽」を趣味にすべく高森さんご自身もギターを購入。職員に教えてもらいながら現在練習に励んでいるとのこと。

もちもちの木での入居者さんとの時間の流れ方が仕事も趣味もちょうど良いと笑って話してくれました。



### もちもちの木で一緒に働いてくれるスタッフ募集中！

グループホーム土橋のおうち、グループホーム古田のおうちで、常勤・非常勤の介護職スタッフ（若干名）を募集しています！

詳細はこちら→



特定非営利活動法人

# もちもちの木

～優しい心～ 迷つたり 探さぬよう そばにいるよ

【本 部】 土橋のおうち 中区土橋町5-35

TEL : 082 (294) 9346 FAX : 082 (294) 9328

MAIL : mochimochi.npo@gmail.com WEB : <https://mochi2.stars.ne.jp>

◎ 古田のおうち 西区古江新町8-32 TEL : 082 (272) 2701

◎ 庚午のおうち 西区庚午中一丁目9-11※お問い合わせは土橋のおうち

